

阿南工業高等専門学校	開講年度	令和04年度(2022年度)	授業科目	機械工学ゼミナール
科目基礎情報				
科目番号	1294201	科目区分	専門 / 選択	
授業形態	授業	単位の種別と単位数	履修単位: 1	
開設学科	機械コース	対象学年	4	
開設期	通年	週時間数	1	
教科書/教材	各研究室別に選定/各研究室別に選定			
担当教員	奥本 良博,原野 智哉,大北 裕司,川畠 成之,西本 浩司,松浦 史法,伊丹 伸,安田 武司			
到達目標				
1. 英文の学術文献または教科書を読み、翻訳することができる。 2. 英文の学術文献の内容を発表し伝えることができる。				
ルーブリック				
	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	最低限の到達レベル(可)	
評価項目1	英文の学術文献または教科書を読みその周辺の内容でまとめることができます。	英文の学術文献または教科書を読み内容を和訳できるだけでなく、内容を理解できる。	英文の学術文献または教科書を読み内容を和訳できる。	
評価項目2	英文の学術文献または教科書を和訳しその周辺の内容を発表して伝えることができる。	英文の学術文献または教科書を和訳した内容をわかりやすく発表できる。	英文の学術文献または教科書を和訳した内容を発表できる。	
学科の到達目標項目との関係				
教育方法等				
概要	英文の学術文献または教科書を講読し、内容を把握し専門知識の獲得ができる力を養う。また、文献等から得た内容を発表で他人に伝える能力を修得する。			
授業の進め方・方法	各担当教員の指導の下、与えられた英語文献あるいは英語教科書を訳して、内容を理解し、理解した内容をわかりやすく伝える。【授業時間31時間】			
注意点	英文文献や教科書の読み方を学ぶ。各自が積極的に取り組むことを心がけてもらいたい。工業英検の受験にも挑戦してほしい。			
授業の属性・履修上の区分				
<input type="checkbox"/> アクティブラーニング	<input type="checkbox"/> ICT 利用	<input type="checkbox"/> 遠隔授業対応	<input type="checkbox"/> 実務経験のある教員による授業	
授業計画				
	週	授業内容	週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週		
		2週		
		3週		
		4週		
		5週		
		6週		
		7週		
		8週		
後期	2ndQ	9週		
		10週		
		11週		
		12週		
		13週		
		14週		
		15週		
		16週		
後期	3rdQ	1週	文献講読 次の各研究室で文献購読を行う。 熱力学、機械システム、材料強度学、応用物理、設計工学、材料科学、流体工学、知能機械、加工工学、計測工学、加工・材料評価	卒業研究で実施する研究課題の概要を理解し説明できる。
		2週	文献講読	英文の学術文献または教科書を読み内容を説明できる。
		3週	文献講読	英文の学術文献または教科書を読み内容を説明できる。
		4週	文献講読	英文の学術文献または教科書を読み内容を説明できる。
		5週	文献講読	英文の学術文献または教科書を読み内容を説明できる。
		6週	文献講読	英文の学術文献または教科書を読み内容を説明できる。
		7週	文献講読	英文の学術文献または教科書を読み内容を説明できる。
		8週	文献講読	英文の学術文献または教科書を読み内容を説明できる。
	4thQ	9週	文献講読	英文の学術文献または教科書を読み内容を説明できる。

	10週	文献講読	英文の学術文献または教科書を読み内容を説明できる。
	11週	文献講読	英文の学術文献または教科書を読み内容を説明できる。
	12週	文献講読	英文の学術文献または教科書を読み内容を説明できる。
	13週	文献講読	英文の学術文献または教科書を読み内容を説明できる。
	14週	文献講読	英文の学術文献または教科書を読み内容を説明できる。
	15週	文献講読発表	講読した英文の学術文献または教科書の内容を発表できる。
	16週		

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
----	----	------	-----------	-------	-----

評価割合

	定期試験	小テスト	ポートフォリオ	発表・取り組み姿勢	その他	合計
総合評価割合	0	0	30	30	40	100
基礎的能力	0	0	10	10	0	20
専門的能力	0	0	10	10	40	60
分野横断的能力	0	0	10	10	0	20